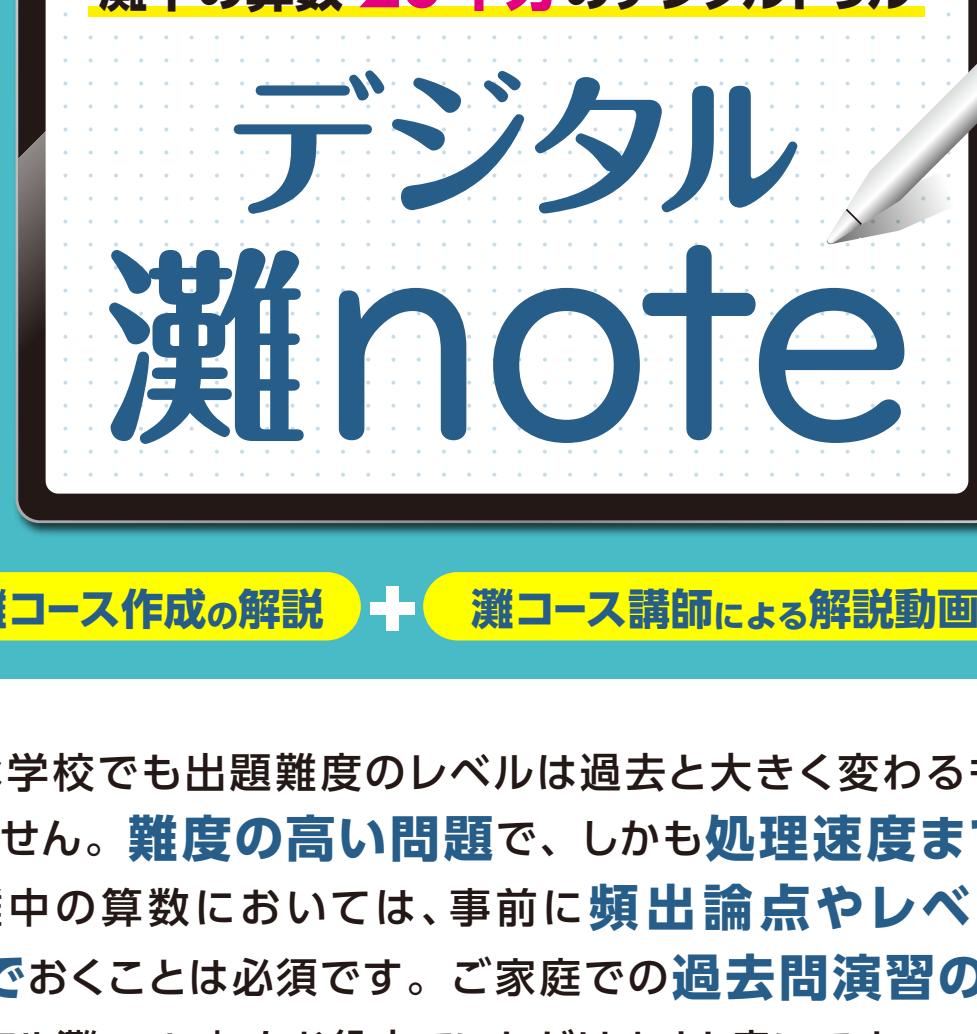
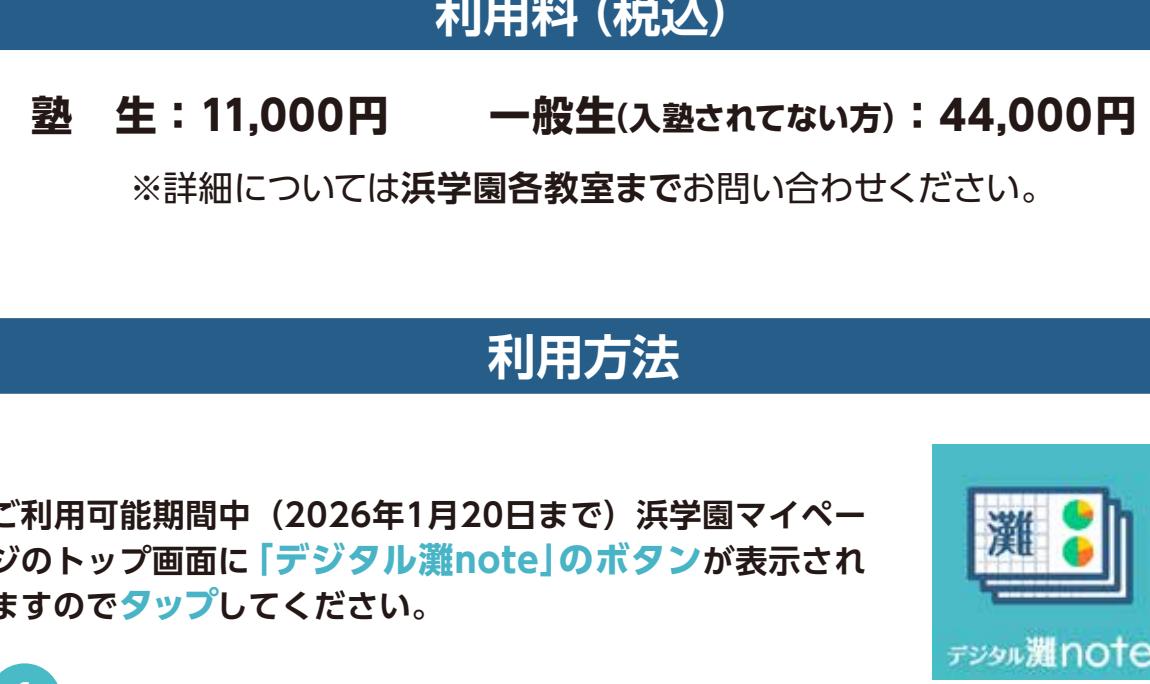


過去問に対する取り組み方がわかる! 算数で問われるセオリーの定着を深められる!



灘コース作成の解説 + 灘コース講師による解説動画つき

どんな学校でも出題難度のレベルは過去と大きく変わるものではありません。難度の高い問題で、しかも処理速度まで求めてくる灘中の算数においては、事前に頻出論点やレベル感を掴んでおくことは必須です。ご家庭での過去問演習の強化に「デジタル灘note」をお役立ていただけますと幸いです。



## 利用期間

利用開始日～2026年1月20日

※お申込み後に手続き完了メールをお送りいたします。

## 利用料(税込)

塾生：11,000円 一般生(入塾されてない方)：44,000円

※詳細については浜学園各教室までお問い合わせください。

## 利用方法

ご利用可能期間中(2026年1月20日まで)浜学園マイページのトップ画面に「デジタル灘note」のボタンが表示されますのでタップしてください。



デジタル灘note

1

まずトップ画面から年度別に取り組んでみましょう。

トップ画面には20年分のボタンが表示されており、ボタンには進捗状況が色で表示されるので、次に取り組まなければいけない年度がすぐにわかります。

上部中央に「分野・着眼点」での検索ページを開くボタンがあります。年度別ではなく

「分野・着眼点」別に取り組みたい場合に

ここよりお進みください。



2

年度別の成績ページが学習ページの入り口です。

取り組む年度のボタンを押すと年度別に成績表が表示されます。問題を選び「学習する」を押すと学習が始まります。

学習が終わるとこのページに成績が表示されます。

過去の合格者の平均と自分の分野別の成績が表示されており、どの分野を

より引き上げるべきかが、はっきりとわかる

ようになっています。



3

検索ページで多角的に学習することもできます。

検索ページでは分野別検索と分野を横断した着眼点別検索ができるようになっています。

例えば「因数」という着眼点は数と計算の分野

だけでなく、文章題や図形の分野を横断して

問われます。このような着眼点別検索で灘の

過去問をより深く学習することが可能になっ

ています。

年度別で学習した後で得点を引き上げたい分野

を重点的に学習するときに使うと効果的です。



4

学習ページでは自動採点+自動計測。

わからなかった問題は解説動画が視聴できます。

解き方欄に解き方を記入し、解答欄を呼び出して、

解答を記入します。

(解くのは紙で)という方も答えや解答方針を記録しておくことをおすすめします。後日学習し直す時に役に立ちます。)

わからなかった問題は解説動画の視聴が可能

ますし、「難問登録」という付箋機能がついて

います。



「デジタル灘note」を申し込む ▶

TOPページへ戻る ▶